

科目ナンバー： 研究・CNS：MA1033／助産：MmA1033

授業コード： 6610000300

講義科目名称： 看護倫理特論

英文科目名称： Issues in Nursing Ethics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	必修
担当教員			
◎石田和子、樺澤三奈子、宮坂道夫、倉林しのぶ、柏木夕香			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	樺澤 三奈子	同上	318	minako-k@niigata-cn.ac.jp
	宮坂 道夫	新潟大学大学院保健学研究科		
	倉林 しのぶ	高崎健康福祉大学保健医療学部		
	柏木 夕香	新潟県立新発田病院 がん看護専門看護師		
	【本学の科目区分】 基盤看護分野			
		【DP1】	【DP2】	【DP3】
	研究		○	
	CNS	○		
	助産	○	○	◎

到達目標	1. 看護倫理の意思決定について説明できる。 2. 倫理的感受性をもって倫理的問題を分析し、その解決のための倫理調整の方策を説明できる。
------	---

授業概要	医療倫理、看護倫理の歴史の変遷の理解に基づき、看護の立場から、また高度実践看護師の立場から、倫理的課題への意思決定支援あるいは調整者としての役割を果すことの必要性について考察する。倫理的意思決定に必要な知識として、倫理原則に基づいて考える原則論およびナラティブに基づいて考える物語論などを学習する。終末期、性と生殖、限られた医療資源の配分や情報共有など、医療現場における様々な領域に存在する倫理的問題に着目し、分析、調整、意思決定支援について事例をとりあげ検討する。また、対象者の自律と看護職能の自律を組織的に活性化させる（エンパワメントする）方法について検討を深める。
------	---

授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：医療倫理の変遷 医療倫理学の方法① 学修内容：・医療倫理の歴史・変化・現在 ・方法論の理解(1) 事前学修：医療倫理について事前に読んでくる 事後学修：講師が必要に応じて提示 備考：宮坂
	2 授業内容 授業形態：講義 学修課題：医療倫理の変遷 医療倫理学の方法① 学修内容：・医療倫理の歴史・変化・現在 ・方法論の理解(1) 事前学修：医療倫理について事前に読んでくる 事後学修：講師が必要に応じて提示 備考：宮坂
	3 授業内容 授業形態：講義 学修課題：医療倫理の変遷 医療倫理学の方法① 学修内容：・医療倫理の歴史・変化・現在 ・方法論の理解(1) 事前学修：医療倫理について事前に読んでくる 事後学修：講師が必要に応じて提示 備考：宮坂
	4 授業内容 授業形態：講義 討議 学修課題：医療倫理学の方法② 学修内容：・方法論の理解(2)：事例を通して考える 事前学修：医療倫理について事前に読んでくる 事後学修：講師が必要に応じて提示 備考：宮坂
	5 授業内容

6	<p>授業形態：講義 討議  学修課題：医療倫理学の方法②  学修内容：・方法論の理解(2)：事例を通して考える  事前学修：医療倫理について事前に読んでくる  事後学修：講師が必要に応じて提示  備考：宮坂</p> <p>授業内容</p> <p>授業形態：講義 討議  学修課題：医療倫理学の方法②  学修内容：・方法論の理解(2)：事例を通して考える  事前学修：1～5回の講義を振り返る  事後学修：講師が必要に応じて提示  備考：宮坂</p>
7	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義 討議  学修課題：看護倫理の現在  学修内容：・看護倫理に関する基準・理論  ・看護倫理の歴史、重要概念  事前学修：1～6回の資料を振り返る  事後学修：講師が必要に応じて提示  備考：倉林</p>
8	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義 討議  学修課題：看護倫理の現在  学修内容：・看護倫理に関する基準・理論  ・看護倫理の歴史、重要概念  事前学修：1～6回の資料を振り返る  事後学修：講師が必要に応じて提示  備考：倉林</p>
9	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義 討議  学修課題：看護実践の倫理①  学修内容：・看護倫理学の方法  ・事例分析  事前学修：・第1～8授業回の学修内容を復習する。  特に「四分割表」の使用法、倫理原則について確認する。  ・事前に配布された「演習事例」を読み、わからない医療用語を調べておく。  事後学修：倫理的ジレンマがある事例を各自で取り上げ、分析シートを用いて事例の分析を行う。  備考：樺澤</p>
10	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義 討議  学修課題：看護実践の倫理①  学修内容：・看護倫理学の方法  ・事例分析  事前学修：・第1～8授業回の学修内容を復習する。  特に「四分割表」の使用法、倫理原則について確認する。  ・事前に配布された「演習事例」を読み、わからない医療用語を調べておく。  事後学修：・倫理的ジレンマがある事例を各自で取り上げ、分析シートを用いて事例の分析を行う。  備考：樺澤</p>
11	<p>授業内容</p> <p>授業形態：プレゼンテーション・討議  学修課題：看護実践の倫理②  学修内容：・事例分析：問題とその分析、調整、意思決定  事前学修：・倫理的ジレンマがある事例を各自で取り上げ、分析シートを用いて事例の分析を行う。  事後学修：・授業内容の復習をもとに、レポートを修正する。  備考：樺澤</p>
12	<p>授業内容</p> <p>授業形態：プレゼンテーション・討議  学修課題：看護実践の倫理②  学修内容：・事例分析：問題とその分析、調整、意思決定  事前学修：・倫理的ジレンマがある事例を各自で取り上げ、分析シートを用いて事例の分析を行う。  事後学修：・授業内容の復習をもとに、分析シートを修正する。  備考：樺澤</p>
13	<p>授業内容</p> <p>授業形態：プレゼンテーション・討議  学修課題：看護実践の倫理③  学修内容：・専門看護師による意思決定支援  ・倫理調整の事例検討  事前学修：・第1～8授業回の学修内容を復習する。  特に「四分割表」の使用法、倫理原則について確認する。  事後学修：・授業内容の復習をもとに、分析シートを修正する。  備考：柏木</p>
14	<p>授業内容</p> <p>授業形態：プレゼンテーション・討議  学修課題：看護実践の倫理③  学修内容：・専門看護師による意思決定支援  ・倫理調整の事例検討</p>

	<p>事前学修：・第1～8授業回の学修内容を復習する。 特に「四分割表」の使用方法、倫理原則について確認する。</p> <p>事後学修：・授業内容の復習をもとに、分析シートを修正する。</p> <p>備考：柏木</p> <p>授業内容</p> <p>授業形態：討議</p> <p>学修課題：専門職の倫理</p> <p>学修内容：・専門職に求められる倫理 ・看護職の使命とエンパワメント</p> <p>事前学修：指定課題についてプレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>事後学修：ディスカッションをもとにプレゼンテーション資料を修正する。</p> <p>備考：石田</p>
事前・事後学習	授業計画参照
評価方法、評価基準	到達目標1～2に対して、授業への取り組み・プレゼンテーション60%、レポート40%により評価する。
テキスト	最新の文献を使用するため、教科書は指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等	宮坂道夫. (2016). 医療倫理学の方法 第3版：原則・ナラティブ・手順, 医学書院.
受講、課題、資料配布等のルール	初回の授業開講時に説明する。 第9～14回：どこカレにて授業内容、課題、資料準備について通知する。
教員からのメッセージ	積極的な参加を期待する。
オフィスアワー	石田が窓口となり対応する。事前にメールで連絡する。